

乗合バス路線の上限運賃変更認可申請について

西武バス株式会社（本社：埼玉県所沢市、代表取締役社長：塚田 正敏、以下「西武バス」）では、2026 年 7 月 1 日を実施予定日とした乗合バス路線の運賃改定について、本日（2025 年 12 月 24 日）、国土交通省関東運輸局長宛に、距離制運賃適用区間（多摩地区及び埼玉地区）に関する一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更認可申請を行いましたのでお知らせいたします。

1. 運賃の改定を申請した理由

西武バスは、2025 年 4 月 18 日付で東京都区内均一運賃適用区間（23 区及び武蔵野市）の路線バス運賃を上限 250 円とする変更認可を受けたことを機に、同年 6 月 1 日付で都区内均一運賃地区（京浜運賃ブロック）の実施運賃を 230 円としました。

しかし、依然としてバス事業を取り巻く環境は厳しく、将来にわたり持続可能な形で運営していくため、距離制運賃適用区間（多摩地区及び埼玉地区）の運賃改定を実施いたします。とくに、運転士や整備士をはじめとする人財の安定確保を最優先課題として位置づけており、処遇改善に必要な財源を確保することが不可欠です。加えて、物価高騰への対応や、安全で安定した輸送サービスを維持するための車両・設備の更新や投資も継続して行う必要があります。これらの取り組みを着実に実行し、安心してご利用いただける公共交通を守り続けるため、お客さまにも費用の一部をご負担いただきたく、運賃の改定を申請いたしました。

2. 申請の概要

- (1) 申請日 2025 年 12 月 24 日（水）
 - (2) 実施予定日 2026 年 7 月 1 日（水）
 - (3) 申請対象路線 距離制運賃適用区間（多摩地区及び埼玉地区）
 - (4) 上限運賃の平均改定率 17.44%
- なお実施運賃に関しては上限運賃より低額な実施運賃といたします。

(5) 現行・申請運賃比較表

	現行運賃		申請上限運賃※1	実施運賃（予定）※2
	現金	IC カード	現金・IC カード	現金・IC カード
初乗り運賃	180 円	178 円	240 円	200 円
同 定期券 (通勤 1 か月)	8,100 円		10,800 円	9,000 円

※1 申請上限運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから収受する運賃額です。

(6) 主な区間の運賃改定額

区 間	現行運賃		実施予定運賃	現行定期券 (1 か月)	実施予定定期券 (1 か月)
	現金	IC カード	現金・IC カード		
国分寺駅北入口～小平駅南口	240 円	231 円	260 円	10,200 円	変更なし
大泉学園北口～朝霞駅南口	270 円	263 円	300 円	10,200 円	変更なし
ひばりヶ丘駅北口～朝霞台駅	290 円	284 円	340 円	10,200 円	変更なし
清瀬駅南口～久米川駅北口	250 円	242 円	260 円	10,200 円	変更なし
小手指駅南口～椿峰ニュータウン	190 円	189 円	220 円	8,550 円	9,900 円
北浦和駅～浦和北高校	250 円	242 円	260 円	10,200 円	変更なし

3. 距離制運賃適用区間の輸送人員及び収支状況

		輸送人員	収支状況
2023 年度 実績年度		7,229 万人	△388 百万円
2026 年度 平年度推計	改定前	7,504 万人	△2,105 百万円
	改定後 ※3	7,291 万人	△292 百万円

※3 2026 年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推定値です。

4. これまでの経営合理化及び今後の取り組み

西武バスでは、これまでバス事業の効率的な運営を目指し、保有車両の代替期間延長による償却費の削減に加え、不採算路線の見直しや、継続運行に必要な車両更新および維持管理コストを踏まえた検討を行い一部路線の廃止など、経営合理化に資する施策を講じてまいりました。

近年では、深刻化する運転士不足の課題解決のため、待遇面や職場環境面の改善を図りながら既存社員のエンゲージメント向上への取り組みや、新たに航空自衛隊と協力し、任期制等自衛官を対象としたバス運転体験会（※1）を行うなど、人財の確保・人財流出防止に取り組んでおります。

引き続き、生活様式の変化に対応した運行ダイヤの効率化を図るとともに、西武鉄道をはじめとする鉄道網とバス網との交通ネットワークの強化、さらに DX の推進により、自動運転バスや新たなモビリティサービスの導入も視野に入れ、サステナブルな視点で業務の効率化を進めてまいります。

5. 安全対策への取り組み

西武バスでは、バス事業の最大の使命である安全輸送の確保に向け、安全対策を最重要課題として継続的に取り組むとともに、付加価値を意識した「一歩進んだ安全」への投資を推進してまいりました。

具体的には、路線特性を踏まえた安全性を重視したダイヤの策定・実施に加え、乗務員に対する安全教育や、安全輸送に対する意識向上を目的として、自動車教習所を借用し、運転技量および旅客サービスの向上を図る運転訓練（※2）を実施しております。

また、デジタル技術を活用したフルオーダー型の研修車両による実技訓練などの施策も継続的に進めております。

さらに、安全性の高い新型路線バス車両として、ドライバー異常時対応システム（EDSS）を搭載した新型車両を積極的に導入し、今後は新型ドライブレコーダーの代替えを行うなど、最新技術を取り入れながら、引き続き安全への投資を行ってまいります。



（＊１）航空自衛隊入間基地にてバス運転体験会の様子



（＊２）自動車教習所にて行った技能訓練の様子

6. 利用者サービスの向上策

（１）通勤定期券【西武バス IC 金額式定期券】

- ・設定金額に応じた発売額は**今回の運賃改定では据え置く予定**としております。
230 円以上につきましては引き続き全線フリー定期券として発売します。

（２）通学定期券【学トク定期券】

- ・「1 学期・2 学期・3 学期・1 か月」と多様な学生の需要に応じて高い割引率で発売しておりますが、**今回の運賃改定では発売設定額は据え置く予定**としております。

（３）IC 一日乗車券【1 DayPass】

- ・大人発売額 700 円・小児発売額 350 円につきましては、今回の運賃改定で発売額の変更はありません。

（４）小児運賃の取り扱い

- ・「**小児用 IC カード**」支払時のみ 1 乗車 100 円を予定しております。
（一部区間の路線バス、深夜バス、高速バス、空港連絡バス、コミュニティバス除く）
現金支払い時及び大人用 IC カードでの精算は現行通り大人運賃の半額となります。

7. リリースに関するお問い合わせ先

西武バス株式会社 管理部 広報担当 金子・平佐・吉岡・中村
TEL：(04) 2995-8111